



関東にも被害者の会が発足

被害から43年が経った2012年8月、『カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律』いわゆる「カネミ油症救済法」が成立しました。

翌2013年1月、『カネミ油症関東連絡会』が発足しました。首都圏ではただひとつの被害者の会です。共同代表や、事務局を担っているのは子どもの

ころに被害を受け、現在、関東に移り住んでおられる方々です。体調が悪く、参加できない方も多く、一見、お元気そうでも何かしらの疾患を抱えこまれた方などが、きびしい中、協力しあって運営にあたっています。

もう終わっていたのかと思っていた！

この会でお会いしたMさんは「九州の山あいでも育ち、10才の時から耳や鼻の穴以外、足に至るまでほとんど全身にニキビができた。兄弟姉妹皆にも同じ症状が出た。脂肪代謝不全という医師の診断であったが、そうであれば生まれた時から出るはず。ニキビは19才で消えたが、疲れやすく、他の人には理解してもらえない数々の症状に悩み、自分でも不思議な病気だと思ってきた。

2年前、「カネミ油症救済法」のことを新聞報道で知り、カネミ油症被害者の症状と、自分の症状が酷似していたので、『もしかしたら自分もカネミ油症？』『カネミ油症って続いているの？まだ終わってなかったの？』と思って、カネミ油症被害者支援センターと厚生労働省に連絡をされたとのこと。Mさんが10才のときは1968年、カネミ油症の被害が広がった時期と重なります。病名もわからない様々な症状、**自分を苦しめてきた病気の原因が知りたい**と思い、油症検診も受けましたが、多くの未認定被害者と同じく『ダイオキシン類の血中濃度が通常値で、カネミ油症ではありません』という結果が届きました。

◆Mさんは『今ひどい体調不良で寝込んでいる。下痢もひどく水も飲めなくなり入院もし、もう1か月近く仕事も休んでいる』とのこと。40数年前にお会いした五島の漁師さんも、広島のパスの運転手さんも下痢に悩まされていて仕事で困ると仰っていたことを思い出しました。

関東での油症検診は、千葉と神奈川の二か所だけで、年に1回あります。神奈川では相模大野駅からバスで30分ほどかかる北里大学病院にて。集合時間が朝の早い時間で体調の悪い人にとっては大変きつく、遠方の人は宿泊が必要です。対応も冷たく、『もう二度と受けたくない』という声が多数です。

※ ダイオキシン入りの油を食べたために、

…油症被害者には、子宮や卵巣を摘出した方が驚くほど多いです。子どもを産んだ被害者の運命も過酷でした。3年前にやっと認定された被害者は油を食べた8年後に肛門のない赤ちゃんを生んでいました。人工肛門をつけ、一生懸命、愛情を込めて育てましたが、4か月で亡くなってしまいました。この赤ちゃんに肛門がなかったことは、親にも知らせず、ずっと、夫婦だけの秘密にしてきました。しかし、カネミ油症の被害者として認定された今、『あの子は、この社会に大事なメッセージを伝えるために生まれてきたのではないか』と考えるようになり、勇気を出して、メディアの前でこの事実を証言するようになりました。

2013年…やっと認定された女性被害者は、電話口で…『今年認定された私の弟…の子どもには 歯が8本生えてこなかったんだって』私は絶句しました。油症被害者の子どもには、永久歯が生えてこない子がたくさんいます。前歯や奥歯が1～2本足りなかったりするのです。しかし、8本も少ないという話は初めて聞きました。



カネミ油症事件は、過去の事件ではありません。

…次世代や次々世代まで続く健康への被害は…次第に明らかになり、勇気ある被害者の訴えによって、マスコミにも取り上げられるようになってきました。しかし、子や孫に現れる被害が深刻であればあるほど、被害者は真相を隠します。子どもや孫を結婚差別から守るためです。全身的に病んでいる私の(知人)は、電話をすると、よく『死にたい…苦しむためだけに生きているようなものだ』と言うのです。彼女の子どもたちも、原因不明の高熱や大量の鼻血、婦人科系疾患などで入退院を繰り返し、まともに働けないほど病んでいます。それでも彼女は、子どもたちが結婚を諦めてしまうのではないかと思います、自分がカネミ油症の被害者であることを、ずっと隠してきました。…被害者の血液を検査しても、レントゲンで調べても、わからないことがたくさんあります。

ダイオキシン研究者の皆さん、現場に足を運んでください。できれば1年間位住み込んで調べて、真実を暴き出してください。… お願いします。

◆以上、ルポルタージュ研究所発行『韓国のダイオキシン被害者たちは今』に掲載されている 宿輪さんの講演録から抜粋させていただきました。

宿輪さんは2013年8月、韓国で開催された『ダイオキシン国際会議』にカネミ油症の被害者として、初めて正式に招待され講演されました。その講演の一部です。